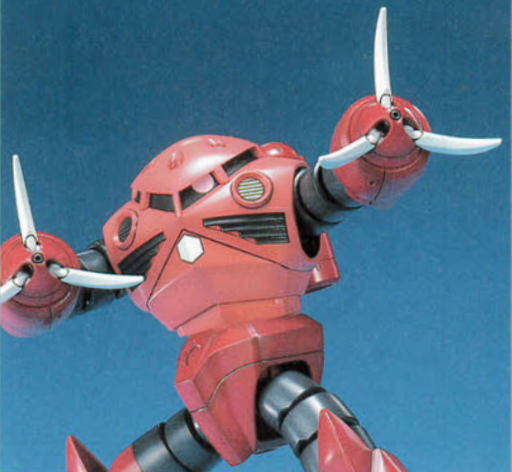


アクションポーズ



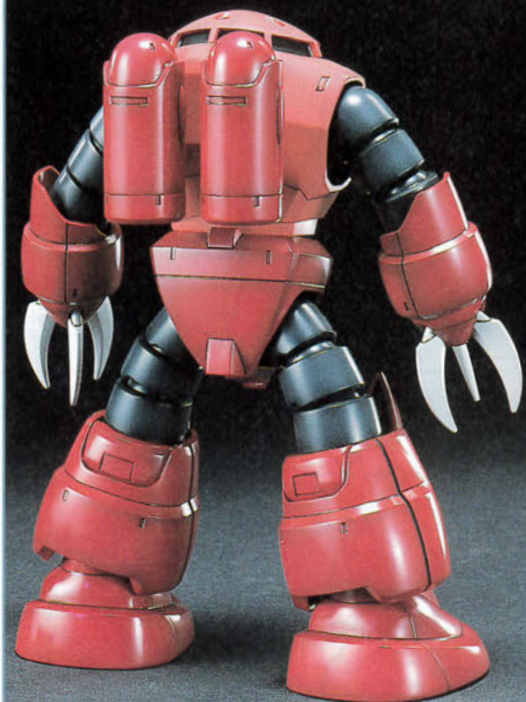
メガ粒子砲発射態勢



水中巡航態勢



リアビュー



MSM-07S 'Z'GOK'

PRINCIPALITY OF ZEON CHAR'S CUSTOM TYPE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSM-07S
 TOTAL HEIGHT : 18.4m
 WEIGHT : 65.1t
 TOTAL WEIGHT : 96.4t
 GENERATOR OUT PUT : 2480kw
 THRUSTER GENERAL OUT PUT : 83000kg
 MAX SPEED : 103kt
 MATERIAL : SUPER HIGH TENSION STEEL
 ARMAMENTS : CLAW ARM
 MEGA-PARTICLE GUN
 240mmROCKET



1/144 SCALE
HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

*写真の完成品は、塗装してあります。

0100568



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 本体：
 - シャインレッド (70%)
 - +ホワイト (30%)
 - +イエロー (少量)
 - ※または、ガンダムカラーピンク2
- 腕、スネ、バックパック等：
 - レッド (80%)
 - +ブラック (20%)
 - ※または、ガンダムカラーレッド2
- ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- 蛇腹部、ダクト：
 - ミッドナイトブルー (100%)
 - +ホワイト (少量)
 - ※または、ガンダムカラーファントムグレー
- 頭頂ミサイル部：
 - ニュートラルグレー (60%)
 - +ミディアムブルー (40%)
 - +レッド (少量)
- ツメ、コクピットハッチ：
 - ホワイト (100%)
 - ※または、ガンダムカラーホワイト3

MSM-07S "Z'GOK"

公国軍における水陸両用MSの開発は、宇宙世紀0079年2月の「地球侵攻作戦」の決定を待って着手された。06系の機体を改修したMS-06Mザク・マリンタイプは、耐圧や装甲形状などの問題から実戦に堪え得るものではなかったため、抜本的にアプローチを変えることとなった。そして、MSMというカテゴリが生まれ、06MはMSM-01と改称され水陸両用機のテストヘッドとなった。「ズゴック」は、MSM-03ゴックなどの機体の実働データをもとに、第二期開発計画に基づいて開発された機体で、

一年戦争における水陸両用MSの中でも屈指の名機とされる。中でもSタイプには、選りすぐりの部材が使用され、ジェネレーターの慣らしやフレームのマッチングなど、スベックには表れない工程上の配慮がなされており、対MS戦などにおいても、パイロットによっては白兵専用機並の戦果を上げたと言われている。公国軍が開発した水陸両用MSは、水冷構造などを取り入れた新たな冷却システムが開発されたことによって、標準的な機体と比べ、単純計算で2~3倍のジェネレーター出力を持っている。ビーム兵器の搭載も比較的早期に達成され、ゴックと比較して稼働時間も大幅に延長されている。ズゴック初号機の完成は、アッガイなどの特殊用途の機体に選られたものの、その分完成度の高い機体となっており、特に「シャア専用機」としても知られるS型には、更なる高性能機の開発を指標とするデバイスが試験的に搭載されている場合が多く、「赤い」機体でなくとも、各地で赫々たる戦果を上げたと言われる。



モノアイカメラ

推進装置

基本的には機体各所に設けられたインテークから取り入れた海水を高圧で噴出するハイドロジェット及びロケット、またはウォータージェットによって航行し、これらのほとんどは陸上では高機動スラスタとして機能する。

メガ粒子砲

インテーク

クロー

コクピットハッチ

ズゴックやアッガイなどのコクピットハッチは、昇降装置と強固なシーリングシステムを兼ねた構造となっている。

フレキシブル・ベロウズ・リム

公国軍の水陸両用MSに特徴的な装備。通常型MSと違い、自由度の高い複数の関節で構成されている。機種によっては伸縮し、より抵抗の少ない航行形態をとれるものもあった。

SPEC

型式番号：MSM-07S
 頭頂高：18.4m
 本体重量：65.1t
 全備重量：96.4t
 ジェネレーター出力：2480kw
 スラスタ総推力：83000kg
 最高速度：103kt
 装甲材質：超高張力鋼
 武装：メガ粒子砲
 クローアーム
 240mmロケット弾

▼クロー ズゴックの近接

戦闘用の武装。機体運用の問題からオプション兵器の携行が困難であったため新撃武装の代替案として装備されたが、実戦においては非常に有効に機能した。開閉機構を使ってマニピュレーター並の作業をこなす熟練パイロットもいたらしい。



▲メガ粒子砲 熱核反応炉の冷却に水冷構造を初めて採用したゴックは、メガ粒子砲をボディ部分に装備していたが、ズゴックは腕部に装備することで、使い勝手を飛躍的に向上させている。

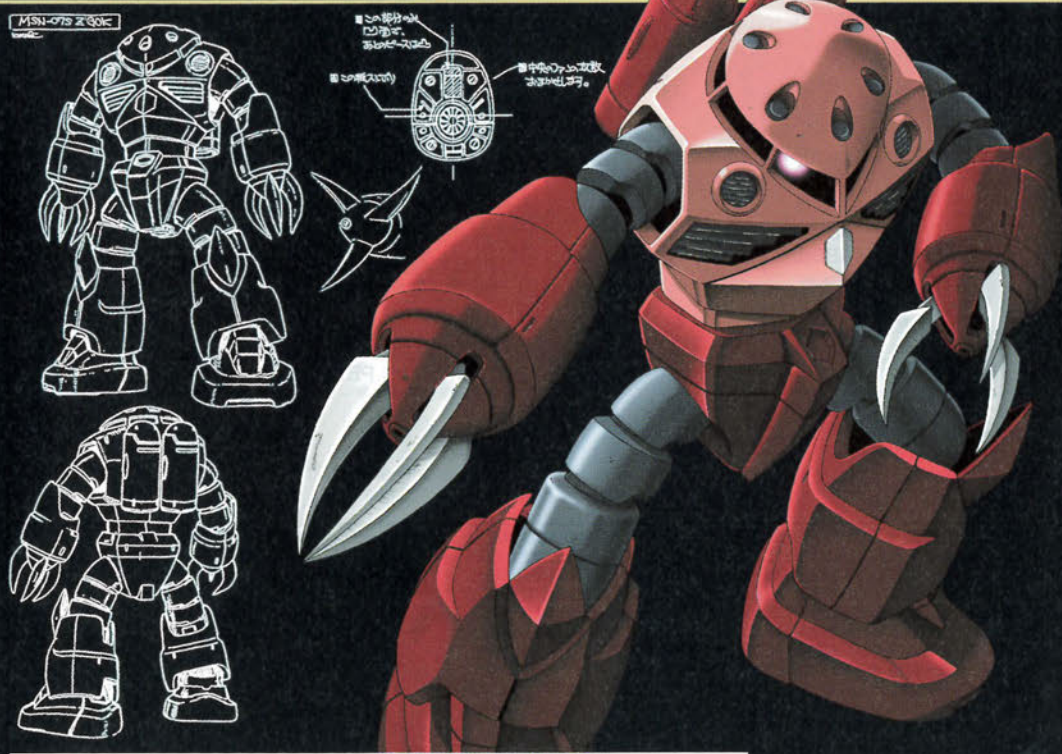


▲頭部ミサイルハッチ 水中発射も可能なミサイルを射出する。発射筒はある程度の与圧もできたようだが、耐圧深度はさほど深くはなかった。基本的には上陸、あるいは浮上した上で射出する。

協力：ホビージャパン



MSM-07S Z'GOK (シャア専用ズゴック) デザインワークス (コンセプトデザイン：カトキハジメ)



「シャア専用ズゴック」のリニューアルデザインにおいては、全身のプロポーションや各ギミックの再現をはじめ、バックパックや足裏における水中用装備をイメージさせるディテールの追求、そしてデザインを損ねる事なく特徴的な手足の多関節や腰ブロックをフレキシブルに可動させられる事が重点的なポイントと言える。

MSM-07S シャア専用ズゴック シャア専用ズゴックは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および映画版「機動戦士ガンダムII 哀戦士編」に登場したジオン公国軍の水陸両用MSである。U.C.0079年11月30日、公国軍によって超死回生のジャブロー攻略戦が敢行された。折しも連邦軍総司令部ジャブローには、大改修を兼ねた整備のためホワイトベースが停泊中であった。敵機侵入の報に、ガンダムを駆り迎撃に出るアムロの眼前で、真紅のズゴックがジムを貫く。「赤い機体!? …ザクじゃないけど!」一瞬の攻防。「さらにできるようなったな、……ガンダム!!」そこに、婚約者であるマチルダが手がけたホワイトベースを守るため、技術大尉のウッディがホバー機ファンファンで割って入る。「冗談ではない!!」モノアイを破壊されたシャアは、吐き捨てるようにホバー機をなぎ払う。そして……!!!!

Illustration work
 Drawn by MASANORI SHINO
 CG Work by TAKAYUKI FURUKAWA

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

(組み立てる時の注意) ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

注意 (ちゅうい)

- 緑部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品の数値の個数を作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



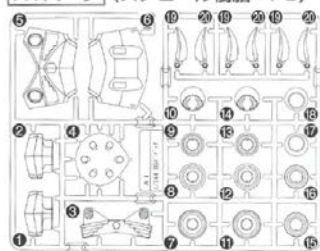
・どちらかを選んで取り付ける



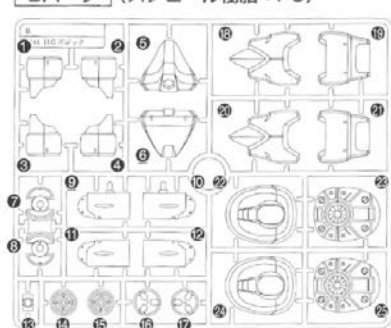
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

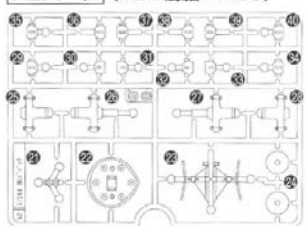
A1パーツ (スチロール樹脂: PS)



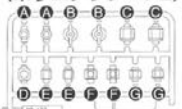
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



A2パーツ (ABS樹脂: ABS)



<P.C-123> (ポリエチレン: PE)



●シール……………1

